

○沖縄地方の地震活動

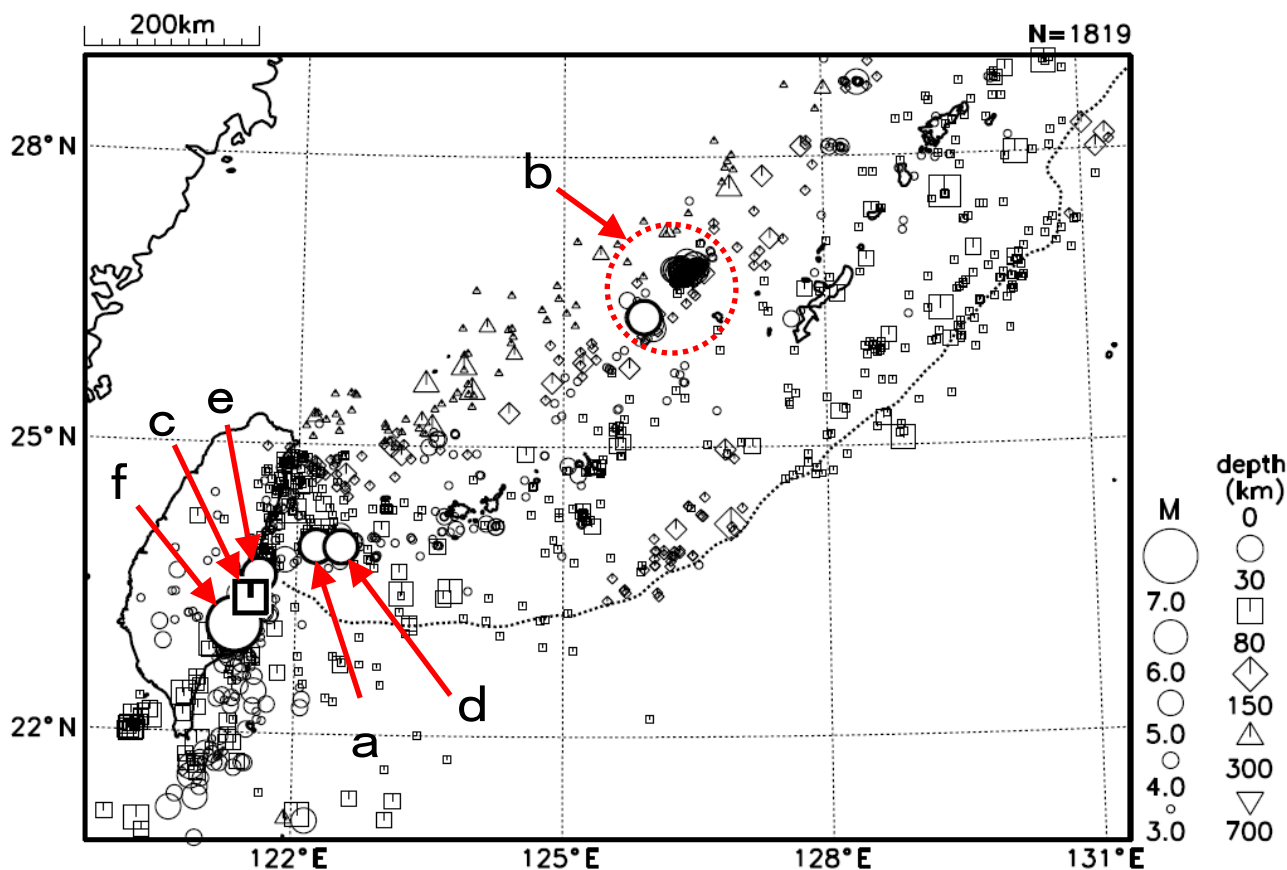


図10 沖縄地方の震央分布図（2022年1月1日～12月31日、M \geq 3.0）

[概況]

2022年に沖縄地方で震度4以上を観測した地震はなかった（2021年は1回）。
2022年中の主な活動は次のとおりである。

1月3日18時46分に台湾付近の深さ27kmでM6.3の地震（図10中のa）が発生し、多良間島から与那国島にかけて震度2～1を観測した。

1月15日13時頃（日本時間）にトンガ諸島付近のフンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山で発生した大規模噴火に伴い、全国各地で潮位変化を観測した。

沖縄本島北西沖（図10中の領域b）では1月30日より地震活動が活発になり、2022年中に震度1以上を観測する地震が77回（震度3：2回、震度2：27回、震度1：48回）発生した。久米島の北西約50kmでは、3月17日及び6月3日にM5.9の地震（いずれも最大震度2）、3月30日にM5.5（最大震度3）が発生した。また、久米島の西約80kmでは、9月18日17時09分にM6.0の地震（最大震度2）、同日19時05分にM5.7の地震（最大震度3）が発生した。この地震活動は沖縄トラフの活動で陸のプレート内で発生した。

3月23日02時41分に台湾付近の深さ32km（CMT解による）でM6.6の地震（図10中のc）

が発生し、伊良部島から与那国島にかけて震度2～1を観測した。

5月9日15時23分に与那国島近海の深さ19kmでM6.6の地震（図10中のd）が発生し、沖縄県与那国町で震度3を観測したほか、宮古島から与那国島にかけて震度2～1を観測した。

6月20日10時05分に台湾付近の深さ14km（CMT解による）でM6.4の地震（国内で震度1以上を観測した震度観測点はなし、図10中のe）が発生した。

9月18日15時44分に台湾付近の深さ3kmでM7.3の地震（図10中のf）が発生し、八重山地方で震度1を観測した。この地震に対し、気象庁は同日15時49分に宮古島・八重山地方に津波注意報を発表した。なお、この地震による津波は観測されなかった。この地震の震央周辺では、9月17日22時41分にM6.6の地震、同日23時45分にM6.0の地震が発生した（ともに国内で震度1以上を観測した震度観測点はなし）。